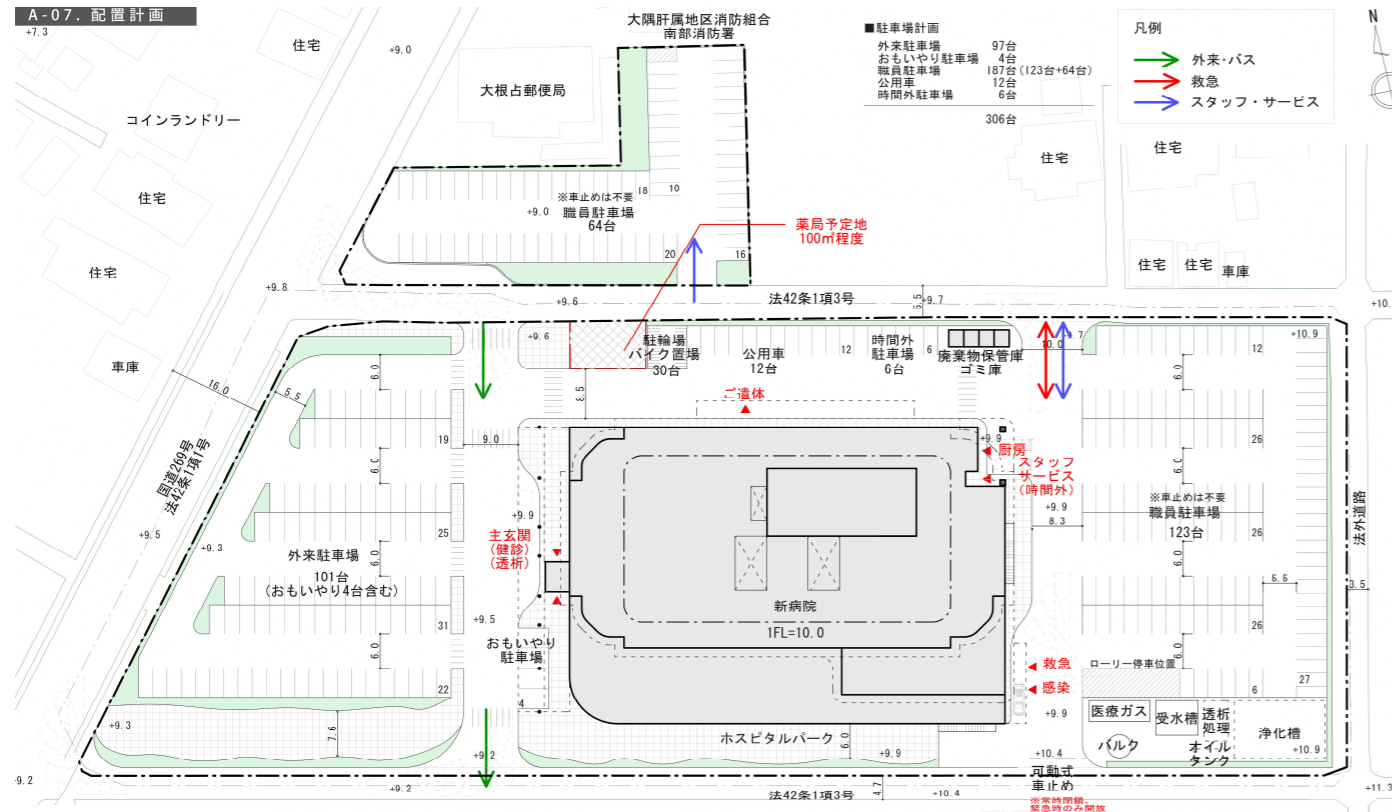






## 6. 配置計画



- 近隣との間隔を十分確保するため、建物は敷地の中央に配置します。
- 両町から来院しやすいよう、国道側に一般駐車場と主玄関を設けます。
- 一般患者用駐車場と職員駐車場を明確に分け、利便性を向上します。
- 車両の混雑防止や安全面への配慮から、一般車やバスと、職員や救急車などの入口を分離して設けます。
- バスでの来院者が利用しやすいよう、玄関前にゆとりのある車寄せを確保します。
- 敷地の南側にホスピタルパークを配置し、リハビリなどで活用できる場所とします。

〔外観イメージ〕



〔内観イメージ(総合待合)〕



## 7. 平面計画

### 【1階】

外来、救急、検査や健診部門をまとめた「ワンフロア外来」とし、来院者の利便性と診療の効率性に配慮します。

総合受付を起点に、診察、各検査部門への回遊性のあるわかりやすい動線とします。

外来待合は、緑豊かなホスピタルパークに面し、明るくやわらかい空間とします。

多目的ホールは、わかりやすい配置とし、集団健診、会議、地域開放や災害時などに利用します。

### 【2階】

地域包括ケア病棟とリハビリを隣接した配置とし、患者の移動負担を軽減します。

リハビリテーション室は、明るく眺望のよい配置とし、リハビリ庭園からホスピタルパークへ直接おける階段を設けることで歩行訓練、昇降訓練を一体的に行えるようにします。

管理部門を2階に集約して配置することで医師や病院スタッフの上下移動を短縮します。

### 【3階】

各病棟の中央にスタッフステーションを設け、見守りを重視した配置とします。

病床数の変化に応じて、病棟区分を自由に変更することを可能とします。

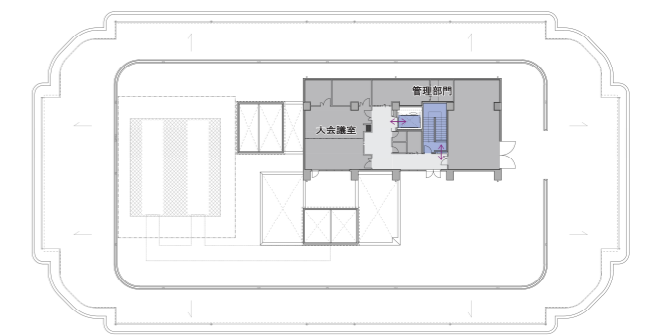
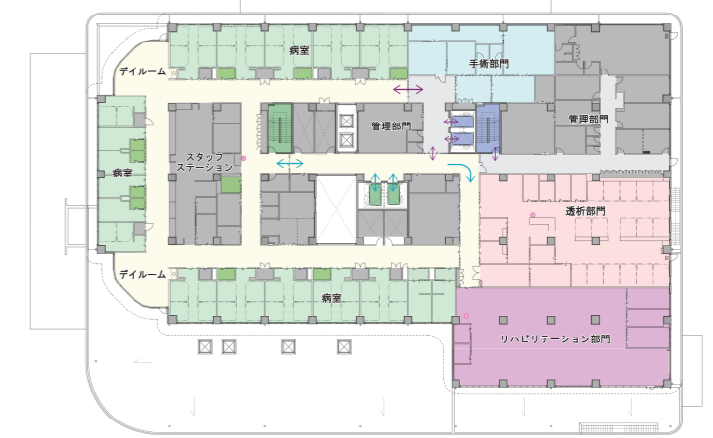
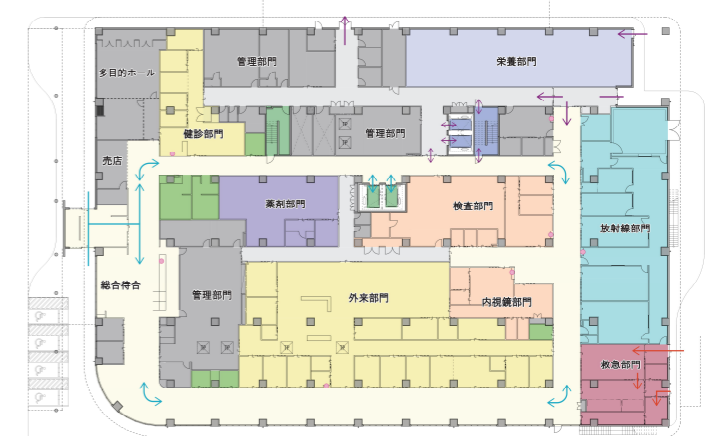
病棟全体を4つのエリア分けが可能な配置とし、将来的に緩和ケアや認知症ケアユニット等の導入も可能とします。

東西南北にデイルーム(DR)を設け、自然豊かな眺望とともに、病棟廊下に自然採光、自然通風を取り入れ、明るく快適な病棟とします。

### 【4階】

移動間仕切りで、人数に応じて効率的に利用できる大会議室を設けます。

屋上設備スペースには、塩害対策として目隠し壁を設置します。



- 【凡例】
- |            |              |         |         |             |
|------------|--------------|---------|---------|-------------|
| ← 患者・来院者動線 | ← 救急患者動線     | ■ 外来エリア | ■ 救急エリア | ■ 放射線エリア    |
| ← スタッフ動線   | ● 受付・案内      | ■ 手術エリア | ■ 栄養エリア | ■ 検査・内視鏡エリア |
| ■ 病室エリア    | ■ 外来・病棟WCエリア | ■ 管理エリア | ■ 共有廊下  | ■ 一般用EV・階段  |
| ■ 薬剤エリア    | ■ リハビリエリア    | ■ 透析エリア | ■ 管理廊下  | ■ 業務用EV・階段  |